自己採点方式の運用(試行)について

令和7年4月 山口県土木建築部

総合評価方式における評価項目について、入札参加者の<u>「自己採点」による加算点</u>及び入札価格をも とに算出した評価値が最も高い者についてのみ、技術提案資料等の審査を行う『自己採点方式』を<u>特別</u> 簡易型において本格実施し、簡易型において試行を開始するものです。

1 対象区分

総合評価方式の「特別簡易型」を採用する工事:本格実施 "「簡易型」を採用する工事:試 行

2 自己採点する評価項目

提出された技術提案資料により、評価できるか否かを客観的に確認できる評価項目のみを自己採点の対象とします。

【特別簡易型:全ての評価項目、簡易型:「簡易な施工計画」以外の評価項目】

_				
評価項目		企業の技術力		企業の地域精通度
型式	簡易な施工計画	企業の 技術的能力	配置技術者の 技術的能力	・地域貢献度
特別簡易型			自己採点	
簡易型	発注者評価			

3 留意事項

- ・工事成績評定点の業種別の平均点については、過去6年間に完成した工事の成績評定を行った企業に対して、技術管理課から「工事成績評定点対象工事一覧及び平均点」(PDFデータ等)を6月中旬頃にメール通知していますので、その平均点により自己採点してください。
- ・自己採点の得点結果が未記入(内容が提出資料等により確認できない場合を含む)の項目については0点とします。
- ・「技術術提案資料提出一覧表」(第2-1号様式又は第2-2号様式)を提出しない者の行った 入札は無効とします。
- ・自己採点の記載内容(評価項目の選択)に誤りがあった場合でも、その後の指名等に不利益を与えることはありません。

4 実施方法

4-1 特別簡易型の場合

入札公告から落札者決定までの流れは、事後審査の場合は**図ー1**、事前審査の場合は**図ー2**のとおりです。

(1) 技術術提案資料の作成

- ① 入札参加者は県技術管理課HP「総合評価方式による競争入札・トップページ」から圧縮ファイル「総合評価(建設工事)提出様式集(2025).4.1以降」をダウンロードします。
- ② ダウンロードしたファイルから、特別簡易型では第2-1号様式を選択します。
- ③ その様式に工事名、商号又は名称を記入の上、ファイルにより入力する場合は各評価項目についての自己評価をプルダウンから選択すると、自己採点の得点結果が自動入力されます。 ※表-1参照
- ④ 作成した「技術術提案資料提出一覧表」(第2-1号様式)を技術提案資料の一部として提出します。

(2) 発注者による審査及び落札者の決定

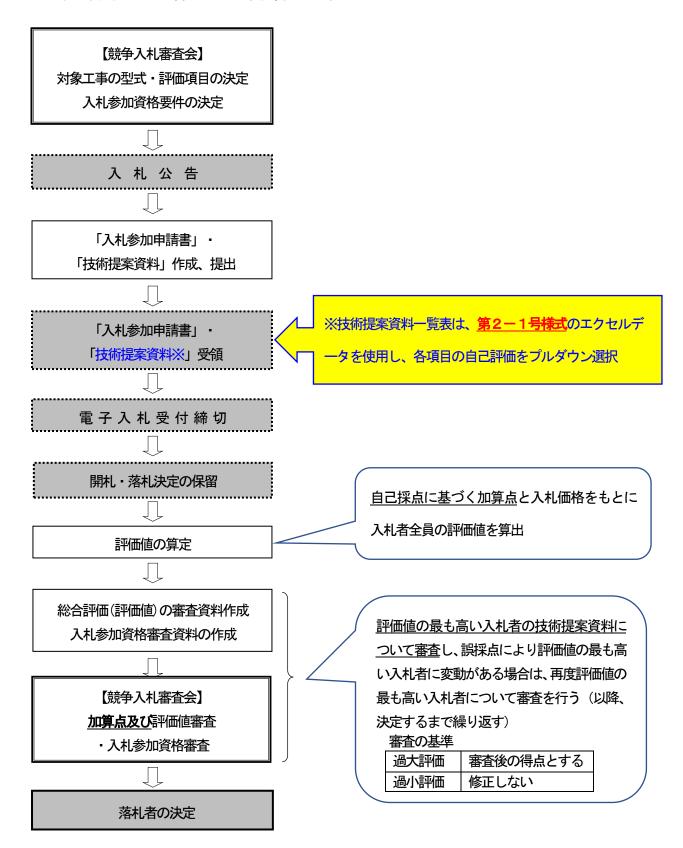
- ① 提出された様式に記載された<u>自己採点による加算点</u>及び入札価格をもとに、入札者全員の評価値を算出します。
- ② 評価値の最も高い入札者が提出した技術提案資料について審査します。自己採点の得点に誤りがあった場合、以下により評価値を決定します。
 - ・過大評価(技術提案資料審査の結果、得点が下がる場合)…審査後の得点とする
 - ・過小評価(技術提案資料審査の結果、得点が上がる場合)…修正しない
- ③ 審査の結果、評価値の最も高い入札者に変更がない場合は、当該入札者を落札者として決定します。また、評価値の最も高い入札者が変動する場合は、再度評価値の最も高い入札者の提出した技術提案資料について審査し、以降決定するまで繰り返します。

(3)入札結果の公表

自己採点方式では、原則評価値の最も高い入札者が提出した技術提案資料について審査し、評価値が2位以下の者については審査を行わないため、公表する技術評価点及び評価値は発注者による評価結果ではありません。

「山口県入札情報サービス(山口県PPI)」において公表する評価調書において、自己採点による(発注者の審査結果ではない)数値には★印を付記しています。 ※表-2参照

図-1 特別簡易型・自己採点方式(事後審査)の実施フロー



※ 原則評価値が2位以下の者については審査を行わないため、公表する評価調書の加算点、技術評価 点及び評価値は発注者による評価結果ではありません。

図-2 特別簡易型・自己採点方式 (事前審査) の実施フロー



※ 原則評価値が2位以下の者については審査を行わないため、公表する評価調書の加算点、技術評価 点及び評価値は発注者による評価結果ではありません。

表-1 特別簡易型・技術提案資料提出一覧表の作成

第2-1号様式

解体工事・造園工事に限る 【入札参加者の作業】

「特例:造園工事又は解体工事」をプルダウン選択し てください。 ※配点区分が切り替わります

技術提案資料提出一覧表 (特別簡易型)

【入札参加者の作業】 赤囲みの範囲について、自己評価をプ ルダウン選択します

商号マけ名称・

							简 万	又は名か:	/_		
	評	価 項 1		プルダウン選択した	場合、該当部分が自動着色さ		【入札参加者】 評価選択 (プルダウン選択)	自己採点 得点結果	発注者 評価結果	提出書類	枚数
		同種工事の施工実績	実績有り	配点 2	実績無し	配点 0 _	実績有り	2		(第6号様式) 実績が無い 場合は添付不要	枚
		工事成績評定点		点以上80点未満	74点以上77点木滴	又は実績なし	80点以上	2		注1、注2 (提出不要)	_
	①企業の技術 的能力	【標準:造園工事・解体工事以外】 労働安全衛生マネジメント等の 取得	配点 2 取得有り	配点 1.5	Phumer Phumer		認証取得を示す登録証の写	枚			
(1)		標準見積書の活用	全て活用する 下請契約が無い	配点 1	活用しない			1		注3 (提出不要)	_
企業のは		作業船の保有状況	自社保有 配点 1	共同保有	配点 0.5 保有無し	配点 0	【対象外】	_		(第7号様式) 海上工事の み適用	
技術力		主任 (監理) 技術者の保有する 資格	資格有り (若手技術者)	配点 1	資格無し	配点 0	資格有り	1		(第8-1号様式、第8-	枚
		配置技術者の施工経験	経験有り	配点 2	経験無し	配点 0	経験有り	2		2 寿禄式)注4、注5	
	②配置技術者	継続学習(CPD)制度の取組状況	取組有り	配点 1	取組無し	配点 0	取組有り	1		(第9号様式)注5	枚
		技能士等の活用	指定無し 活用有り	配点 1	活用無し		活用有り	1		注 6 (提出不要)	_
		舗装施工管理技術者又はポンプ施設 管理技術者を指定した場合	1級 2 配点 1	級 配点 0.5		配点 0	1474 10 7				
		地域精通度 (本店等の有無)	本店等有り	配点 1	本店等無し	配点 0	本店等有り	1		注 7	枚
		地域貢献度(応急対策活動実 績)	実績有り	配点 1	実績無し	配点 0	実績有り	Table Ta			
	企業の地域精通 地域貢献度	地域貢献度(地域活動実績)	実績有り	配点 1		配点 0	実績有り	1			枚
		地域貢献度(県内資材の活用)	指定資材無 し 全量活用	配点 2	(活用しない)	配点 0	指定資材無し	2		注 6 (提出不要)	-
		地域貢献度(県内企業の下請活 用)	全て活用 (対象外工種を除く)	配点 2	(活用しない)	,	全て活用	2		注8(提出不要)	_
								18. 0			
					【参考】 自己打	解点による加算点	(換算点計)	10.000	\ プル	レダウン選択した自己評価	の配点

※ 別紙の注1~注9を参照の上、作成すること。

プルダウン選択した自己評価の該当部 分が自動で着色されます

プルダウン選択した自己評価による加算点 (換算点計) が自動で入力されます

プルダウン選択した自己評価の配点 (配点合計) が自動で入力されます

表-2 特別簡易型・評価調書(入札結果)の公表

【例1】技術提案資料一覧表が未提出の場合((株)〇〇組の自己採点結果が不明の場合)

【例2】発注者の審査の結果、評価値の最も高い入札者に変更があった場合(◇◇興業(株)の自己採占の記載内容に誤りがあった場合)

総合	評 価 入		方	_,		関																							_
発注機関名		I		事	名	i						I	事	場	所			予定	価格(税抜き・F	9) 調	查基	基準価格(円) F	入札方式(智	客 查方式)	ń	総合訓	平価型式	開札日	
〇〇土木建築事務所	令和□年度 (第◇工区	0000	OOO	泉 △△	ΔΔΔ	ΔΔΔ	. ۵۵.	工事		000	000	市大	≱Δ∠	ΔΔΔ:	字令〈	> \ \	也内	3	32,000,000		30,	,000,000	条件付一般競争力	、札(事後審	香)	特別	簡易型	令和○年▽▽月▲▲日	
					(1) 1	と 業	の 技	術	カ			(2		業の地域 域貢献	域精通	度											$\overline{\Box}$]
			11	企業の技	術的能	力	2配	置技術者	皆の技	術的能力	① 均 域 料 通 ß	青		域貢献			- 加 算 点		標準		覆	技	入札			評			
	ij	頁目等	Т 3	工 労働 安積 全	進	項	保有資格	施工経験	涛 : 1	技能 事 項	地理的	応急対	活	~ ~	内企	項目計	換算点	標準点	· 点 十 加 算	1 1	行確実点	(術評価点	書記載価	評 価 値		1価値順位	落 札 者	備考	
企 業 名			rije i	衛生	書	目計	TET	學		等日項目計	条件	策等活動	ì	材活用	未下請活用		計		点				格			の	評価値	議も高い者(1位)以外 に順位は自己採点による	
					ŧ	技術提 類	を資料	の審	査を多	注注者/	が行っ	ていた	よいな	易合、	項目	計、加拿 T		1		I			印をつけます。 <u>-</u>	(C+D)/ 1百万万		あり	り、発注	まれるため参考順位で 主者の評価結果による	
																A	В	С		D	C+D	E	(C+D)/ 1百万	F×	順1	ュでは	ありません。		
		準配点 目換算点	2	2 1	1	6	1	2	1 4	1 5	1	1	1	2	2	7	10	100	110		5	115. 000		1/		\checkmark			
朱)★★組		目毎得点 目換算点	2	2 1 4.00	1 0 1	√ 6	1	2 4. (1)00	1 <u>5</u>	1	1	. 	000	2	7 ★	10.000	t 100	110.000	*	0	110.000 🛨	29, 900, 00	0 3. 667	*	8			1
朱) 〇〇組		目毎得点 目換算点		<u>_</u>	<u> </u>	Γ΄	l	<u> </u>	L	<u>L</u>			1	1	<u></u>		-											技術提案資料(第2-1号様式)が未提出のため無効	【例
朱)●●建設		目毎得点 目換算点	2	0 1 2.66	7	_4 ★	1	2 4. (1	1	1	0		714	2	6 ★	8. 381	100	108. 381	*	5	113. 381 🛨	30, 100, 00	0 3. 767	*	7			1
▽工業(株)		目毎得点 目換算点	2	2 0		5 ★	1	2 4. (1	1 5 ★	1	1		2 714	2	6 ★	9. 048	♦ 100	109. 048	*	5	114. 048 🛨	30, 000, 00	0 3. 802	*	3			1
◇興業(株)		目毎得点 目換算点	2	2 1 4.00	1	6	1	0 ^{×1}	k	1 3	1	1	·	000	2	7	8. 400	100	110.000		5	113. 400	30, 000, 00	0 3. 780		5			【例
△建設(株)		目毎得点 目換算点	2	2 1 4.00	1	6 ★	0	2 3. 2	1 200	1 <u>4</u>	1	1		2 429	0	5 ★	8. 629	∀ 100	108. 629	*	5	113. 629 *	30, 000, 00	0 3. 788	*	4			1
‡)▲▲工業		目毎得点 目換算点	2	2 1	1	6 ★	1	0 2.4	·	1 3 ★	1	1	· 	2 000	2	7 ★	8. 400	t 100	108. 400	*	5	113. 400 🛨	30, 000, 00	0 3. 780	*	5			1
■組(株)		目毎得点	2	2 1	1	6	1	2 3. 2	L_	1 4	1	1		000	2	7	9. 200	100	109. 200		5	114. 200	30, 000, 00	0 3.807		1	0	くじにより決定	1
朱)◎◎建設		目毎得点 目換算点	2	2 1	1	6	1	2 3. 2	1	0 4	1	1	·	000	2	7	9. 200	100	109. 200		5	114. 200	30, 000, 00	0 3. 807		1			Ī

注1) この表中の「項目毎の換算点」・「加算点」・「技術評価点」・「評価値」については、計算上は四捨五入を行っていないが、表示上は表示析の一桁下で四捨五入を行った表記となっている。 また、<u>★印が表記されたものは、自己採点による(発注者の評価結果ではない)数値</u>である。

注2) 評価値=技術評価点÷入札書記載価格×1,000,000

注3) 入札参加者の評価値の算定において、入札書記載価格が調査基準価格を下回る場合は、調査基準価格を用いて評価値を算定する。

評価していない主な理由

※1 同種工事の施工経験について、確認できる資料が添付されていないため

4-2 簡易型の場合

入札公告から落札者決定までの流れは、事後審査の場合は**図-3**、事前審査の場合は**図-4**のとおりです。

(1)技術術提案資料の作成

- ① 入札参加者は県技術管理課HP「総合評価方式による競争入札・トップページ」から圧縮ファイル「総合評価(建設工事)提出様式集(2025).4.1以降」をダウンロードします。
- ② ダウンロードしたファイルから、簡易型では第2-2号様式を選択します。
- ③ その様式に工事名、商号又は名称を記入の上、ファイルにより入力する場合は各評価項目についての自己評価をプルダウンから選択すると、自己採点の得点結果が自動入力されます。 ※表-3参照
 - ※工事成績評定点も自己採点の対象
- ④ 作成した「技術術提案資料提出一覧表」(第2-2号様式)を技術提案資料の一部として提出します。

(2) 発注者による審査及び落札者の決定

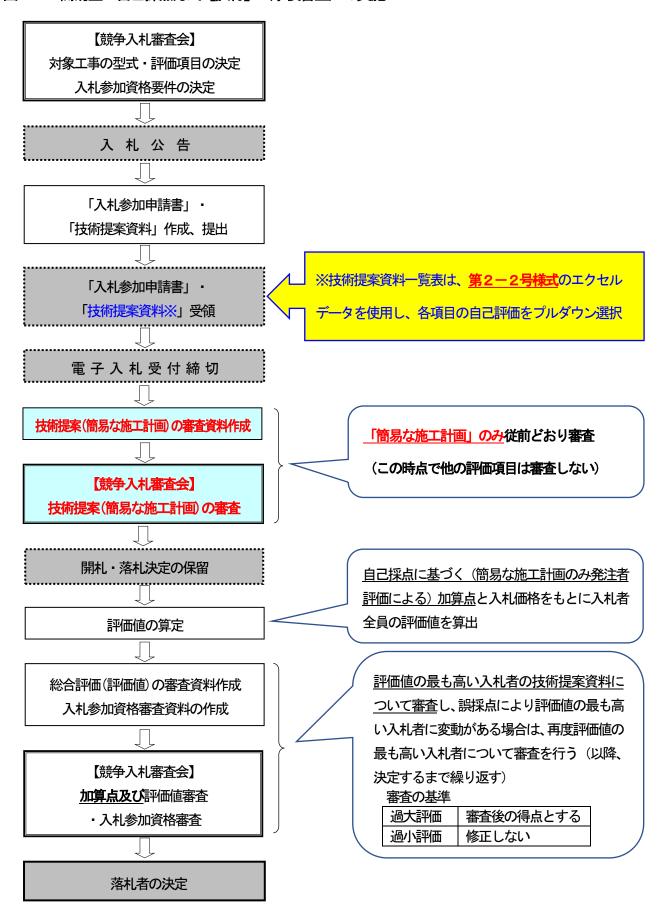
- ① 提出された様式に記載された<u>自己採点による得点結果と「簡易な施工計画」の発注者による</u> 評価結果を合算した加算点及び入札価格をもとに、入札者全員の評価値を算出します。
- ② 評価値の最も高い入札者が提出した技術提案資料について審査します。自己採点の得点に誤りがあった場合、以下により評価値を決定します。
 - ・過大評価(技術提案資料審査の結果、得点が下がる場合)…審査後の得点とする
 - ・過小評価(技術提案資料審査の結果、得点が上がる場合)…修正しない
- ③ 審査の結果、評価値の最も高い入札者に変更がない場合は、当該入札者を落札者として決定します。また、評価値の最も高い入札者が変動する場合は、再度評価値の最も高い入札者の提出した技術提案資料について審査し、以降決定するまで繰り返します。

(3)入札結果の公表

自己採点方式では、原則評価値の最も高い入札者が提出した技術提案資料について審査し、評価値が2位以下の者については審査を行わないため、公表する技術評価点及び評価値は発注者による評価結果ではありません。

「山口県入札情報サービス(山口県PPI)」において公表する評価調書において、自己採点による(発注者の審査結果ではない)数値には★印を付記しています。 ※表-4参照

図-3 簡易型・自己採点方式【試行】(事後審査)の実施フロー



※ 原則評価値が2位以下の者については審査を行わないため、公表する評価調書の加算点、技術評価点及び評価値は発注者による評価結果ではありません。

図 - 4 簡易型・自己採点方式【試行】(事前審査)の実施フロー



原則評価値が2位以下の者については審査を行わないため、公表する評価調書の加算点、技術評価点及び評価値は発注者による評価結果ではありません。

表一3 簡易型・技術提案資料提出一覧表の作成

解体工事・造園工事に限る 【入札参加者の作業】

第2-2号様式

「特例:造園工事又は解体工事」をプルダウン選択 してください。 ※配点区分が切り替わります

技術提案資料提出一覧表(簡易型)

【入札参加者の作業】 赤囲みの範囲について、自己評価をプ ルダウン選択します

				商号又は名称:			
評	価 項 目	※自己評価でプルダウン選択した	(分 - 場合、該当部分が自動着色される み、「得点結果」に選択部分の配点を記入	【入札参加者】自己評価 評価選択 (プルダウン選択) 得点結果	【 発注 者】 評価結果 提出書類	枚数	
	工程管理				(第3号様式)	枝	
	品質管理	「①簡易な施工計画」について 案資料により発注者が審査・評		発注者	(第4-2号様式)	杉	
施工計画	その他配慮すべき事項	無負料により先注者が審査・計1 価は不要です	画しまりので、自己計	発注者 評価	(第4-2号様式)	杉	
受注者が	提案する事項				(第5号様式)	₽.	
	同種工事の施工実績	実績有り 配点 2	実績無し 配点 0	実績有り 2	(第6号様式) 実績が無い 場合は添付不要	ال ا	
	工事成績評定点	80点以上 77点以上80点未满	74点以上77点未満 65点以上74点未満 、又は実績なし	80点以上 🔻 4	注1、注2 (提出不要)	-	
	【標準:造園工事・解体工事以外】 山口県優良建設工事表彰	配点 4 配点 3 表彰有り 表彰し	配点 2 配点 1	(未選択) 80点以上 77点以上80点未満 1	注 3		
(1) 企 ②企業の技術的能	IS09001の取得状況	取得有り 配点 1	取得無し 配点 0 _	77点以上80点未凋 74点以上77点未凋 65点以上74点未凋	注4	44	
業力	IS014001又はエコアクション21の取得	取得すり 配点 1 ISO14001 エコアクション21	配点 0			杉	
技術	状況 労働安全衛生マネジメント等の	取得有り 配点 1 取得有り	配点 0 取得無し 配点 0	- IS014001取得有り 1	注 4	₽.	
カ	取得	取得有り配点 1	取得無し 配点 0	取得有り 1	注4	r.	
	標準見積書の活用	全て活用する 配点 1	活用しない 配点 0	全て活用する 1	注 5 (提出不要)	_	
	作業船の保有状況	自社保有 配点 1 共同保有	R有無し 配点 0.5 配点 0	- 【対象外】 -	(第7号様式)海上工事の み適用		
	主任(監理)技術者の保有する 資格	資格有り 配点 1	資格無し 配点 0	- 資格有り 1	(第8-1号様式、第8-	t t	
	配置技術者の施工経験	経験有り 配点 2	経験無し 配点 0	- 経験有り 2	2号様式)注5、注6	t t	
③配置技術者	継続学習(CPD)制度の取組状況	取組有り 配点 1	取組無し 配点 0	取組有り 1	(第9号様式)注5、注6	R	
	技能士等の活用	指定無し 活用有り 配点 1	,				
	舗装施工管理技術者又はポンプ施設 管理技術者を指定した場合	1級 2級 配点 0.5	活用無し 配点 0	活用有り 1	注7(提出不要)	_	
	地域精通度 (本店等の有無)	本店等有り	本店等無し 配点 0	本店等有り 1	注8	杉	
	地域貢献度(応急対策活動実績)	実績有り 配点 1	配点 0 実績無し 配点 0	- 実績有り 1	(第11号様式) 活動実績 を証明するもの	杉	
(2)企業の地域精通度・ 地域貢献度	地域貢献度(地域活動実績)	実績有り 配点 1	実績無し 配点 0	- 実績有り 1	(第12号様式)活動実績を証明するもの	ال ا	
IPNO	地域貢献度 (県内資材の活用)	指定資材無し 全量活用 配点 2	左記以外 (活用しない) 配点 0	指定資材無し 2	注7 (提出不要)	-	
	地域貢献度(県内企業の下請活 用)	全て活用 (対象外工種を除く) 配点 2	た記以外	全て活用 2	注9 (提出不要)	_	
	7197	(水赤/下土僅を掛て) 配点 2	自己採点 合計	23. 0			
			【参考】 自己採点による加算/	点 (換算点計) 10,000	プルダウン選択した自己評価の	の配点	

※ 別紙の注1~注10を参照の上、作成すること。

プルダウン選択した自己評価の該当部 分が自動で着色されます

プルダウン選択した自己評価による加算点 (換算点計)が自動で入力されます (配点合計)が自動で入力されます

表-4 簡易型・評価調書(入札結果)の公表

【例1】技術提案資料一覧表が未提出の場合(▽▽工業(株)の自己採点結果が不明の場合)

【例2】発注者による「簡易な施工計画」の審査において提案を評価しない場合(◇◇興業(株)の品質管理に関する提案が工事の特徴を踏まえた記述となっていない場合)

発注機関名				I		事		名									I	事	場	所			予定值	西格(税抜き・F	円) 調査	整基準価格(円) F	入札方式(審査方式)	総合記	評価型式	開札日
〇〇土木建築事務所	和口年度 OC	000	00線	ξ ΔΔ	۵۵۵	۱۵۵۵	۵۵۵	L事 第	育◇工	区				000	000	市大学				◇◇ <i>た</i> での間	ら同市	大字☆☆☆	80	0,000,000		75,000,000	条件付一般競争力	入札(事前審査)	特別	簡易型	令和○年▽▽月▲▲日
					_		(1)	企 業	0	技術	5 力						(業の地 地域貢	也域精道 献度	度									T	
簡易な施工計画」は、評価値順 関わらず、入札参加者が提出し 所提案資料を発注者が審査しま	た技	>	①簡》 施工記				②企業(の技術に	的能力			3配	置技術	者の技	術的		〕地 或精 重度	②地	域貢献	献度		加算点		標準	履	技	入札		評		
州灰米貝村で北江日が 番重しま	項目等	等質	事 事 項 /	注 者 が 項	施工実績	工事成績	優 I 良 S エ 0 事 9	7 0 1 1	働安全	標準見積書活	項目	保有資格	施工経験	継続学習	士 等	項	地理的条	応急対策等	也或舌功 原内資材活	県内企業下	項目計	換算点	標準点	点 + 加 算	行確実点	術評	書記載価	評 価 値	価値順位	落札者	備考
企 業 名			1	提 目案 計				シ 4 ョ 0 ン 0	年 生	書活用	計					計		等活動	月	下請活用		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		点			格		の	評価値	- 「最も高い者(1位)以外 近順位は自己採点による まれるため参考順位で
	技術提案資	料の	審査を	発注	者が行	ってし	ない場	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	目計	、加算	点、	標準点	点十加	算点	技術	評価	点、評	严価値	[c ★]	印をつ	けます	· . A	В	С	D	C+D	E	(C+D)/E× 1百万又は (C+D)/F×	あり	り、発え	主者の評価結果による はありません。
	基準配	2.da	2 2	4	2	4	1 1	1	1	1	11	1	2	1	1	5	1	1 1	1 2	2 2	7							1百万	丌	ota	
	項目換算	算点	10					4						4	. <u>.</u>		<u> </u>		2	=	-L	20	100	120	5	125. 000			\checkmark	\angle	
)★★組	項目毎年 項目換算		2 2 10		2	4	1 1 4	. 000	1	1	11	1	2 4.	1 000	1	5	1		1 2 2. 000	2 2	7	20. 000	100	110. 000	5	125. 000	76, 000, 00	00 1. 645	5		
)〇〇組	項目毎年項目換算		2 2		2	4		636	1		V 10	1	2 4.	1 000	1 1		1	1 1	1 2			19.636 ★	100	109. 636	* 0	119.636	74, 900, 00	00 1. 595	7		
)●●建設	項目毎年		2 2		2	4	1 1	000	1 1	-	11	1	2 4	1 000	1]	5	1	1 1	1 2	4	7	20. 000	100	110. 000	5	125. 000	75, 000, 00	00 1. 667	1		
7工業(株)	項目毎得							_i	1											<u> </u>	<u> </u>									1	技術提案資料 (第2-2号 様式) が未提出のため無効
◇ 興業(株)	項目毎年		0*1 2 5		2	4	1 1	. 000	1	1	11 ★	1	2 4.	1 000	1 1	5	1	1 1	1 2	4	7 ★	15.000 ★	100	110. 000	* 5	120.000	75, 000, 00	00 1.600	6		
∆建設(株)	項目毎後	得点	2 2		2	4	0 1		1	1	10 ★	1	2			5	1	1 1		2 2		19.636 ★	100	109. 636	* 5	124. 636	75, 000, 00	00 1.662	3		
)▲▲工業	項目毎得項目換算		2 2		2	4	1 1	1 000	1_1_		11	1	2		1]	5	1	1 1	1 2	2 2	7	20. 000	100	110. 000	5	125. 000	75, 000, 00	00 1. 667	1	0	くじにより決定
■組(株)	項目毎得項目換算	得点	2 2	4	2	4	1 1	0 636	1	1	10 ★	1	2		1	5	1	1 1		2 2	<u>7</u>	19.636 ★	100	109. 636	★ 5	124. 636	75, 500, 00	00 1.651	4		
集) ◎ ◎ 建設	項目毎得	得点	2 2	4	2	4	1 0		1	1	10 *	1	2		_	5	1	1 1	1 2	2 2		19.636 ★	100	109. 636	★ 5	124. 636	79, 000, 00	00 1. 578	8		

^{*} この表中の「項目毎の換算点」・「加算点」・「技術評価点」・「評価値」については、計算上は四捨五入を行っていないが、表示上は表示桁の一桁下で四捨五入を行った表記となっている。

項目換算点

評価していない主な理由

また、★印が表記されたものは、自己採点による(発注者の評価結果ではない)数値である。

評価値=技術評価点÷入札書記載価格×1,000,000

注3) 入札参加者の評価値の算定において、入札書記載価格が調査基準価格を下回る場合は、調査基準価格を用いて評価値を算定する。

^{※1} 発注者が求める一部の項目に対する提案はあるが、全ての項目に対する提案がないため